



すずしろ

～開拓・発展・完成～

6月 第2号
令和7年6月6日
開進第四中学校だより
校長 田邊克宣

『 革命の運動会 』

学校だより4月号では、運動会で組体操（タワー、ピラミッド等）やムカデ競走を実施しない理由を述べさせていただきました。それはとりもなおさず、運動が得意な生徒もそうでない生徒も、好きな人もそうでない人も、全校生徒が参加して初めて成り立つ学校行事である運動会を、全員が真剣に、全力で勝負に臨み、終わった時に、皆が笑顔でいられるものにする、ただそのためです。

今年度、第64回運動会の当初実施日は、準備体操を終えた頃からあいにくの雨模様となりました。開四中生の元気溢れる姿を、保護者、地域の皆様にせめて一種目でもご覧いただきたいと思い、順延の判断をぎりぎりまで引き伸ばしましたが、結局かなわず、せっかくご来校いただいた皆様には雨の中お待たせしてしまい、ご迷惑をおかけいたしましたこと、改めてお詫び申し上げます。当日の生徒席テントから湧き立つ気合一杯のかけ声に、本運動会への生徒たちの並々ならぬ意気込みを感じていただけたとしたり幸いです。

そしていよいよ本日6月4日、満を持して、第64回運動会は無事、開催の運びとなりました。

夜来の雨も上がり、朝からの晴天が、薄く雲のかかる絶好の運動会日和となり、生徒たちはグラウンド狭しと、終始、躍動する姿を見せてくれました。

学年種目はそれぞれに工夫があり、その中で繰り広げられる真剣勝負に見応えがありました。選抜リレーは、さすが各クラスの代表だけあって、圧巻の走りでした。全員リレーは、仲間を信じて、バトンをつなぎ、ゴールラインまで力を抜くことなく走りきる姿に、感動を覚えました。パフォーマンスの“わっしょい隊”に、ハーフタイムショーも楽しそうで、上手なダンスが華を添えていました。ラストのワッショイ祭りでは、たくさんの保護者、地域の方々共々、楽しく盛り上がることができました。予行では、はやる気持ちは抑えきれずに立ち上がって応援していた生徒が、本番では、大きな声はそのままに、きちんとしゃがんで仲間にエールを送る姿に、さすが開四中生と感じ入りました。各係の仕事も、それぞれ主体的に、責任をもってこなしながら、生徒たち全員が、今日一日、朗らかな笑顔でいたことを、何よりうれしく思います。

運動は、本来楽しいもの。でも、一人一人全員が楽しかったといえるのは、開四中生が、そういうクラスを、学年を、創ってきたからに他なりません。

運動が得意な人も苦手な人も、嫌いな人も好きな人も、信じられる仲間の中だからこそ、競技に、係に、応援に、一人一人皆が安心して、真面目に、真剣に、全力で取り組むことができる運動会を、生徒たちは創り上げました。それはつまり、皆が真面目に、真剣に、全力で、安心して楽しめる学校ということなのです。

力強い吹奏楽の演奏の中、賞状・トロフィーを渡した各クラスには、改めておめでとうと伝えます。そして、互いに全力を出し切って戦い、声を限りに応援しあった全クラスの諸君には、仲間と過ごしたその時間こそ、何物にも代えることのできない、重く、大きな、価値ある心の中のトロフィーとして、それぞれの胸の内にしっかりと受け止めてほしいと思います。

これまで先輩たちが63回にわたって築いてきたよき伝統を礎としながら、一生懸命、真面目に、全力で楽しめる、新たな開四中への改革を、生徒たちは今回、見事に成し遂げました。この成功を次へとつなげるためには、今回改めきれなかった課題にしっかりと向き合うことも大切です。よりよい開四中、よりよい自分のために、さらに高く、広く、羽ばたいていくことを大きく期待しています。

実行委員は本当にご苦勞様でした。そして、参加したすべての生徒に、第64回運動会 大成功の喜びを込めて、祝福の拍手を送ります。

お忙しい中ご来校いただいた616名の保護者・地域の皆様、本日はあたたかい応援をありがとうございました。どうぞ子供たちをほめてやってください。近隣の皆様には、駐輪に関してご迷惑をおかけし、申し訳ございません。練習から本番まで、温かく見守ってくださり、深く感謝申し上げます。

今年度最初の大きな学校行事に対する保護者、地域の皆様の多大なるご理解とご協力に感謝申し上げます、この成功体験を今後の教育活動への大きな布石としてまいります。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。